

=====

Micro Dry™ プリントドライバ Ver.4.10 for Windows の
ご使用にあたって
< MD-1000 専用版 >

=====

ここには最新の情報が記載されております。ALPS Micro Dry™ カラープリンタのご使用にあたり、必ずお読みください。

ここに記載されている以外のプリントドライバ仕様に関しては、MD-1000J用ユーザーズマニュアルに記載されている内容をご参照願います。

・インストール時の注意

MD-1000用の古いバージョンのプリントドライバが存在する場合は、必ず「プリンタの削除」にて登録削除してください。

Windows 95 をご使用の場合は、登録削除後に必ずコンピュータを再起動した後に本プリントドライバをインストールしてください。

1. 本プリントドライバの動作環境について

Micro Dry™ プリントドライバ Ver.4.10 for Windows は、下記の動作環境でご使用いただけます。

対応プリンタ：

アルプス電気製 MD-1000J, MD-1000D

(いずれも SCSI アダプタを取り付けていない、Windows モード動作時に対応します)

注意： MD-2000J, MD-2010J, MD-2300J, MD-4000J は、本プリントドライバでは使用できません。

適応コンピュータ：

Windows 版プリントドライバには以下の2種類があります。

- 1) IBM PC-AT および その互換機(DOS/V 機)
- 2) NEC PC-9801 シリーズおよびその互換機

インストール時に該当機種にあったドライバであることを再確認してください。
(インストール用ファイルの中の VER.TXT に該当機種名が記載されています。)

オペレーティングシステム：(Windows3.1の場合)

PC-DOS (DOS/V)Ver.5.0 以降

MS-DOS (DOS/V)Ver.5.0 以降

MS-DOS (NEC-PC98) Ver.5.0 以降

Windows：

Windows Ver3.1

Windows 95

また、システム環境は下記を推奨します。

印刷時のワークディスク量：

- ・ハードディスクの空き容量が 30MB 以上

メモリー構成：

- ・8MB 以上(16MB 以上推奨)

2. 本プリントドライバに関するアップデート情報

この Micro Dry™プリンタドライバ では、下記の内容が追加・変更になりました。

Ver.4.10 の変更点 (97/08)

- MD-2000 シリーズ用プリンタドライバ (Ver3.x)と共存した場合に、プリンタ設定時にエラーが発生する件を改善しました。
 - 印刷途中で印刷を中止した場合に、エラーが発生する点を改善しました。
 - 大きなオブジェクトを貼り付けたデータの印刷中にエラーが発生する点を改善しました。
 - Windows 3.1 環境で、エラー解除後の自動復帰が行われない場合がある点を改善しました。
 - メタリック+フルカラー印刷時に、2ページ目以降が正常に印刷されない場合がある点を改善しました。

Ver.4.00 について (97/05)

- MD-1000J 専用版として、新しくリリースされました。これに伴い、以下の機能が MD-1000J 用として追加されました。
 - 1) 専用光沢紙による、フルカラー 1200dpi 光沢仕上げ印刷対応。
 - 2) ハイグレードペーパーへの、フルカラー 600dpi 光沢仕上げ印刷対応。
 - 3) 特色ホワイトによる特色印刷対応。
 - 4) 光沢仕上げインクカセットを特色インクとして光沢仕上げ印刷のみ行うことが可能。
 - 5) モノクロ印刷時にカーネル矯正動作を省略する印刷モードを指定可能。
- MD-2000 シリーズ用プリンタドライバ Ver3.x に対して、プリンタ設定インターフェースを変更しました。Windows 95 のプリンタプロパティ設定による各種機能もご利用いただけるようになりました。
- **カラーキャリブレーション機能の改善。**
MD-2000 シリーズ用プリンタドライバ Ver3.1 と比較した場合、600dpi フルカラー印刷時の印刷結果において、よりモニターの発色に近い自然な色を再現できるようになりました。
- **NTT 社製 Angel Line と同時に使用できるようになりました。**

3. プリンタの機種共存について

【 Micro Dry™プリンタの複数機種共存方法 】

本プリンタドライバは、MD-1000 専用です。MD-2000J, MD-2010J, MD-2300J, MD-4000J をご使用の場合は、該当機種用の最新ドライバをご使用ください。(注意: Ver2.x 以前の Micro Dry™プリンタドライバとの共存は動作保証していません。)

【 Micro Dry™プリンタと他社製プリンタの共存 】

以下のような場合に、Micro Dry™プリンタと他社製プリンタドライバの共存に問題があることがわかっています。

1. **WindowsPrintingSystem(WPS)**を搭載したプリンタドライバとは同時に使用できません。MD シリーズを接続すると、イニシャライズ動作等を繰り返す場合があります。MD プリンタを使用したい場合は、他社製 WPS プリンタドライバを削除するか、他社の WPS プリンタの出力先を FILE に変更してください。
2. 一部のプリンタのプリンタドライバが組み込まれている場合、「?????????.....」のような意味不明の文字が出力される場合があります。この場合は、プリンタドライバをコントロールパネルから削除するだけでなく、特定のファイルの設定を [SYSTEM.INI] ファイルから消去する必要があります。具体的な解決方法は、競合するプリンタ各社のサポート窓口へお問い合わせ願います。

4. その他

Windows 環境にて Micro Dry™プリンタドライバをお使いいただく上で以下の点にご注意ください。

- ◆ **Windows 95** に標準搭載されている「MSゴシック」「MS明朝」などの TrueType フォントでは、「(」や「」などの左括弧文字がずれて印刷されてしまう場合があります。この現象を回避するためには「MS Pゴシック」「MS P明朝」などのプロポーショナルフォントを使用してください。
- ◆ **Windows 3.1** の[メモ帳]は高解像度に対応していないため、印刷時には **300dpi モード** を選択してください。
- ◆ 印刷中に[通信エラー (Not Responding)]とのメッセージを表示してドライバが停止した場合は、[再試行]をクリックして**印刷を続行**できるか確認してください。印刷を続行できた場合にはそのまま正常に印刷できます。

Micro Dry[®]および MD-2000J, MD-2010J, MD-2300J, MD-4000J, MD-1000J, MD-1000D はアルプス電気株式会社の商標です。
MS, Microsoft, MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
その他の会社名、商品名は、該当各社の商標または登録商標です。

アルプス電気株式会社の許可なく本文の一部又は全部を転写並びに複製することを禁止します。

1997年8月 アルプス電気株式会社